

「2015年度 学生満足度調査」における学生要望・課題への対応について

名古屋柳城短期大学
学長 新海英行

本学では、在学生と今年度の卒業生のご協力を得て、2015年6月に学生満足度調査を実施しました。ご協力いただいた皆様に感謝いたします。

この調査のねらいは、学生の皆さんが本学での学生生活において何に満足し、またどのような要望を持っているかを明らかにすることです。そして良いところはさらに磨き、要望の多い項目は改善を図っていきます。ここでは、特に要望の多い項目に着目し、その後どのように改善したか報告します。

要望項目	改善を図った内容
学食(と購買)がほしい	昼食時に弁当屋さん(障がい者共同作業所がつくった会社)に来てもらい、弁当やサンドイッチをラウンジで販売してもらうことにしました。
教室やトイレなど、学内施設のクリーニングを十分にしてほしい	快適なキャンパス生活を過ごすうえで不可欠であることは言うまでもありません。そこで清掃業者の清掃業務を増やし、学内施設の美化に努めることにしました。
授業の過密化を緩和し、もう少し余裕のある学習上の環境条件がほしい	来年度からは5限目及び土曜日の授業を少なくし、学習内容の重複を避けるなど、カリキュラムの精選と効率的な授業ができるように努力します。

食堂(と購買)については、新設といった抜本的な改善策ではありませんが、少しでもみなさんの要望に応えることができれば幸いです。

以上、みなさんの要望が多い3つの項目を紹介し、その後どう改善されたのか報告しました。学生満足度調査はこれからも年1回、定期的実施する予定です。そして、そのたびに問題点を明らかにし、早急に改善を実行していきます。楽しく充実したキャンパスライフを実現するために、この調査を大いに活用したいと思います。